

みえ 8020 運動推進員各位

公益社団法人 三重県歯科医師会
会長 稲本良則

令和 6 年度フッ化物応用研修会の開催について

みえ 8020 運動推進員
指定研修会

平素より、本会会務運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、標記研修会を下記のとおり開催しますので、多くのご参加を賜りますようお願いいたします。

記

主催 三重県・三重県歯科医師会
日時 令和 6 年 7 月 25 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分
参加方法 ◎Web 受講 ※Zoom ウェビナーを使用
◎会場受講 (会場：三重県歯科医師会館 2 階大会議室 津市桜橋 2 丁目 120-2)
演題 「今、注目される歯科疾患の重要性」
講師 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
健康推進歯学分野 教授 相田 潤 先生
対象 歯科医師、歯科衛生士、学校関係者、行政関係者等
申込方法 ◎Web 受講の場合

必ず期日までに、下記 URL または QR コードから
お申込みください。

URL <https://forms.gle/Ub3dWG1Wos54YXGo8>
登録されたメールアドレス宛、7 月中旬に、研修会の
視聴方法等の詳細をご連絡いたします。

◎会場受講の場合 <定員：150 名>

必ず期日までに、下記、参加申込書にてお申込みください。
※先着順 (定員を超え、受講できない場合に限り連絡をいたします。)

申込締切 令和 6 年 7 月 10 日 (水) <参加無料>

※三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方は参加申込
時にご連絡ください。なお、申請にあたり三重県歯科衛生士会に氏名を連絡しますのでご了承ください。

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前 9 時までに本会ホームページに掲載します。

<QR コード>



令和 6 年度フッ化物応用研修会 参加申込書 (会場受講用)

氏名	(ふりがな)	8020 推進員登録番号	
		電話	() - () - ()
三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方はチェック☑を入れ、会員番号を記入してください (三重県歯科衛生士会経由)			<input type="checkbox"/> (会員番号)

<お申込み・お問合せ> 三重県歯科医師会事務局 FAX 059-227-0510

TEL059-227-6488 / 〒514 - 0003 津市桜橋 2 丁目 120-2

今、注目される歯科疾患の重要性

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
健康推進歯学分野 教授 相田 潤 先生

過去10年間ほどの間に、国際的に歯科口腔の健康の重要性の認識が高まっており、2019年には医学誌 Lancet で196年の歴史の中で初めてとなる口腔保健の特集号が出版され、2021年には世界保健機関（WHO）の第74回世界保健総会で口腔保健に関する歴史的な決議が承認された。このように口腔の重要性の認識が高まった理由として、口腔疾患の有病率の高さや健康格差の大きさ、口腔の健康が全身の健康に影響することなどがデータに基づいて認識されるようになってきたことが挙げられる。

特に健康格差に関しては、新型コロナウイルス感染症は、社会に大きな影響を与えた。自殺は失業や貧困が大きな原因となるが厚生労働白書（令和3年版）では、過去10年ほど減少を続けていた自殺者数が、コロナ禍で増加に転じ、そして自殺の増加は女性で顕著なことが示されている。このような状況下、う蝕の健康格差についても、所得の低い家庭や、シングルマザーの家庭で影響は強いと考えられる。

また、子どもの頃の口腔の健康は、成人、高齢期の健康にも影響をする。子どものころにむし歯が予防されていれば、高齢者になった時に歯の数が多く維持され、それが全身の健康に良い影響を与えることが分かってきた。

生涯にわたって口腔の健康を維持し、全身の健康増進につなげていくためにはどうしたらいいか。歯みがきや歯科受診、よい食生活や、タバコを吸わないことなどが挙げられるが、特に日本で足りないと思われるのがフッ化物応用である。子どもから高齢者まで生涯にわたり重要なフッ化物応用について説明し、その誤解を解きたい。

【講師紹介】 相田 潤 （あいだ じゅん）

2003年 北海道大学歯学部卒業

2004年 国立保健医療科学院専門課程修了

2007年 北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了

2007年～2011年 東北大学大学院歯学研究科助教

2010年～2011年 University College London 客員研究員

2011年～2020年 東北大学大学院歯学研究科准教授

2012年～2018年 宮城県保健福祉部 参与（歯科医療保健政策担当）兼務

2014年～2020年 東北大学大学院歯学研究科臨床疫学統計支援室室長

2020年～2021年 東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター地域展開部門教授
(クロスアポイントメント)

2021年～ 東北大学特任教授（客員）

2020年～ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野教授

日本老年学的評価研究（JAGES プロジェクト）コメンター、口腔の健康格差の研究と政策の国際センターコメンター、日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会委員長などを務め、健康格差とその原因や解消方法の研究を中心に、口腔の健康と全身の健康や、東日本大震災と健康の社会的決定要因の変化と健康の研究などを行っている。